

# 三溪だより



～心かがやき ともにのびる 三溪っ子～

三郎いっけさん

## 継続した保健指導

### ～ピカぴち教室～

三溪小学校では、児童一人一人が基本的な生活習慣を身につけ、進んで健康の保持増進に努めることができるように、6年間継続した保健指導を行っています。

今年度は、定期歯科健康診断の結果より、う歯のある児童が昨年度より増加していることが課題であったため、歯科保健指導に重点的に取り組みました。

1・2年生は、10月の学習参観日に、保護者の方と一緒に歯の染め出しを行いました。学級担任が、「クラスの虫歯地図」を見せることで、どの歯がう歯になりやすいのか、磨き残しやすいのかを、児童と保護者が実感することができたようでした。さらに、2年生ではゲストティーチャーとして歯科衛生士の保護者の方を招き、「よく噛むために、野菜を大きく切って調理する」など、専門的な指導を受けることができました。後日、保護者の方から「仕上げ磨きを丁寧にするようになりました」というご意見をいただき、お家での歯磨きを確認して下さるきっかけとなったようでした。

3年生から6年生は、例年通り、発達段階にあわせたワークシートを使い、保健室で歯の染め出しを行いました。毎年写真を撮ってファイルに保存しているため、児童自身が自分の磨き方の癖に気づき、意識して磨けるようになってきているようで、学年が上がるにつれて磨き残しが少なくなっていました。

歯の染め出し指導とあわせて、学級担任による毎給食後の歯磨き指導を続けることで、児童自身が自分の歯を大切にしよう、という意識を高め、実践へとつながっていくように、引き続き取り組んでいきたいと思っております。



- 1日(水)入学周知会・委員会活動
- 2日(木)特別校時(下校13:00)
- 3日(金)全校朝会・ベルマーク袋配布
- 5日(日)新春こどもフェスティバル
- 8日(水)代表委員会・避難訓練(不審者対応)
- 9日(木)校内研修会5年(下校13:40)
- 10日(金)心のノートの時間・移動図書館  
ベルマーク回収・諸費引落日
- 12日(日)みにに駅伝(10時スタート)
- 13日(月)あいさつ週間・計算チャレンジ週間  
劇団四季ミュージカル鑑賞(6年)
- 14日(火)心かがやく日  
龍雲中学校入学説明会(14:45～)
- 15日(水)心かがやく日・クラブ活動(3年見学)
- 16日(木)心かがやく日
- 17日(金)全校朝会(プランナー引継ぎ式)  
三道会
- 20日(月)きりっと学習習慣  
ALT来校日・安全点検日
- 22日(水)幼・保・小交流会・クラブ活動
- 24日(金)全校朝会・ぴかぴかクリーンデー  
龍雲中学校新入生テスト
- 26日(日)体育館清掃(9:00～)
- 27日(月)ソーシャルスキル
- 28日(火)スクールカウンセラー来校日
- 29日(水)6年生を送る会

### 3月行事予定(案)

- 5日(月)龍雲中学校体験入学(6年)
- 13日(火)龍雲中学校卒業式
- 14日(水)卒業式予行
- 15日(木)卒業式準備
- 16日(金)卒業証書授与式
- 20日(火)期末懇談会(希望者)
- 22日(木)教室移動・給食終了・地区児童会  
PTA役員会

## 学年だよりから(5年)

今月の一冊 「めざすは飛鳥の千年瓦 山本清一」

今回は本というより、書いた人についてお話します。

山本清一さんは半世紀以上、伝統的な建造物の瓦の葺き替えをしてこられた屋根屋さんです。法隆寺、東大寺、薬師寺、唐招提寺、松本城、姫路城、世界遺産や国宝の屋根に登り続け、瓦を葺き替え、日本の宝を雨漏りから守り続けた人です。

奈良にある山本さんの工房へは3度ほどお邪魔しました。その時、この本をいただきました。

山本さんは若い頃、瓦をうまく葺くことに熱中したと言います。しかし、どんなにうまく葺いても雨漏りが止まらない。原因は簡単で、時代によって、瓦の大きさや焼きが違っていること、つまり、質のよくない瓦が混じっていることでした。出した結論は、千数百年前の瓦を手本にして、自分で古代の瓦を作り、焼いて、葺くことでした。

その頃、飛鳥や奈良時代の瓦の研究は文様や形式の分類が主流でした。制作方法については、諸説あるものの、自分で実際に焼いて、葺いた研究者はいませんでした。当たり前のことです。

山本さんは、まず土探しから始めました。土に納得すると、学者から聞いたことをもとに、瓦づくりの道具を手作りしました。木製の道具が出来ると、木と粘土の間に挟む麻布も自分で織りました。繊維のもととなる草も自分で育てようとしたそうです。そして、瓦の製作が上手いくと、今度は焼くための窯を築きました。古代の窯、あな窯です。

失われた技術を復活させようとするれば、試行錯誤を重ねながら、一つ一つ積み上げて行くしかない、納得するまでやって、疑問を一つ一つ解決するしかないと考えたのです。その過程で、学者とも随分やり合ったそうです。「先生が言うとおりにするのは、出来ませんがな...」。最初は「ムカツ」とした学者さんも、去ることはなく、今では山本さんの工房は権威ある研究者の溜まり場ようになってしまいました。山本さんの主張に合理性と説得力があったのです。

山本さんの工房を訪ねると、たいていまる1日、話をしたり、色々なものを見せてもらったり、瓦を作らせてもらったりして過ごします。また、惜しげもなく様々な物をいただきます。1日で5年分の勉強をした思いがします。

2年前の冬、お願いしたいことがあって電話をしたときのことでした。

「3時40分過ぎたら、もう一度電話してや」。その時間に、再度電話をると、「さっきはすまんかった。本願寺の上におったんや...」。雪の舞う中、あの本願寺の大屋根の上に立っていたのです。はんばやないなあと思いました。



## 三溪の森から

5年生みんなで久しぶりに三溪の森を歩いてみました。少し暖かくなったら...

「三郎池の落ち葉はもう一度、さらわないといけないな。」

「水路の崩れた石垣を直して、本当に地つきをしてみよう。」

「ホタルが卵を生む苔を貼ってやりたいな。」

「アサザが育つ水辺も作りたい...。」

「はげ山にドングリから育てた木の苗を植えよう。」

「本当の三郎池のように、他の所からも水が流れ込むようにしよう。」

次々と飛び出す計画、今年だけでは足りず、卒業までつき合いは続きそうです。

寒が終わり、光の春が訪れる頃、作業再開です。

**体育館清掃を2月26日(日)9:00～に行います。**

**学校開放諸団体の方の参加をお願いします。**

**通信欄** 三溪だよりをお読みいただきありがとうございます。私どもは、地域、保護者とともに子どもを育ててはぐくんでまいりたいという願いをもっております。そこで、三溪だよりをよい内容とするために御意見や御感想をお待ちしております。ご近所のお子さんにことづけたり正門郵便ポストにお入れいただきますようお願いいたします。

**御意見・感想**